

令和4年度 高冷地水稲生育速報(第2報)

岐阜県中山間農業研究所

1. 生育概況(6月15日調査)

調査日	年度	草丈 (cm)		茎数 (本/m ²)		葉色					
						葉色板		SPAD値		葉齢	
たかやまもち	本年	24.9	(77%)	375	(89%)	3.6	(-0.1)	36.9	(-0.0)	7.3	(-0.3)
	前年	28.3		357		4.2		37.6		7.7	
	平年	32.5		419		3.7		36.9		7.6	
あきたこまち	本年	22.8	(75%)	304	(77%)	4.1	(-)	39.7	(-0.2)	8.2	(+0.7)
	前年	28.1		391		4.7		42.3		7.6	
	平年	30.3		396		-		39.9		7.5	
ひだほまれ	本年	26.9	(80%)	342	(84%)	3.3	(-0.3)	35.2	(-1.3)	8.0	(+0.2)
	前年	30.2		317		3.7		37.1		7.4	
	平年	33.5		407		3.6		36.5		7.8	
ひとめぼれ	本年	22.2	(74%)	412	(81%)	4.3	(+0.2)	40.8	(+1.7)	7.9	(+0.3)
	前年	26.8		504		4.2		39.0		7.8	
	平年	29.8		510		4.1		39.1		7.6	
コシヒカリ	本年	24.2	(71%)	389	(82%)	3.6	(-0.4)	37.2	(-2.5)	7.9	(+0.4)
	前年	29.4		393		4.2		39.9		7.5	
	平年	34.2		473		4.0		39.7		7.5	

栽培条件: 移植5月16日 栽植密度22.2株/m² 1株4本稚苗移植 基肥N=0.5kg/a

平年値: 過去5年間(H29年~R3年)の平均値
()内の数値は対平年値

2. 気象状況と当面の管理

1) 気象概況

6月上旬の平均気温は平年より低く、日照時間は平年並みであったが、6月第2、第3半旬は平年より少なかった。

2) 生育概況

生育は、平年と比較し、草丈は低く、茎数は少ない。葉色値は「ひとめぼれ」を除き平年より低く、葉齢は平年よりやや大きい、「たかやまもち」は平年よりやや小さい。

3) 病害虫等の発生状況

イネミズゾウムシ、イネドロオイムシの発生がみられる。発生密度はそれほど高くないが、低温が続くと発生数が増加する可能性があるため注意する。発生密度の高いほ場においては発生状況に合わせ防除を検討する。

4) 今後の管理

「中干し」は生育促進、土壌中のガス抜きの効果がある。また、秋作業を楽にするためにも6月末~7月上旬までに実施するようにする。ただし、分けつが平年より遅れ気味なので茎数に応じて中干し時期を検討する(中干し開始の目安は、「コシヒカリ」では茎数20本/株)。中干し後は間断灌水を行う。また、健全な生育のため7月上旬までにケイ酸カリを施用する。

令和4年(2022年)の気象図

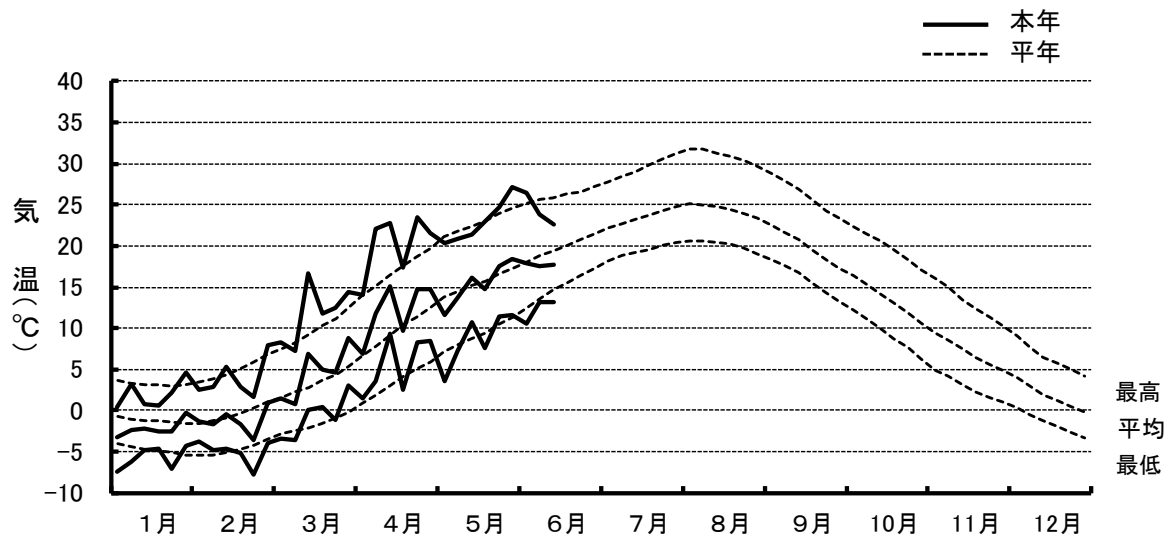


図1 本年度の半旬別気温の推移(高山市)

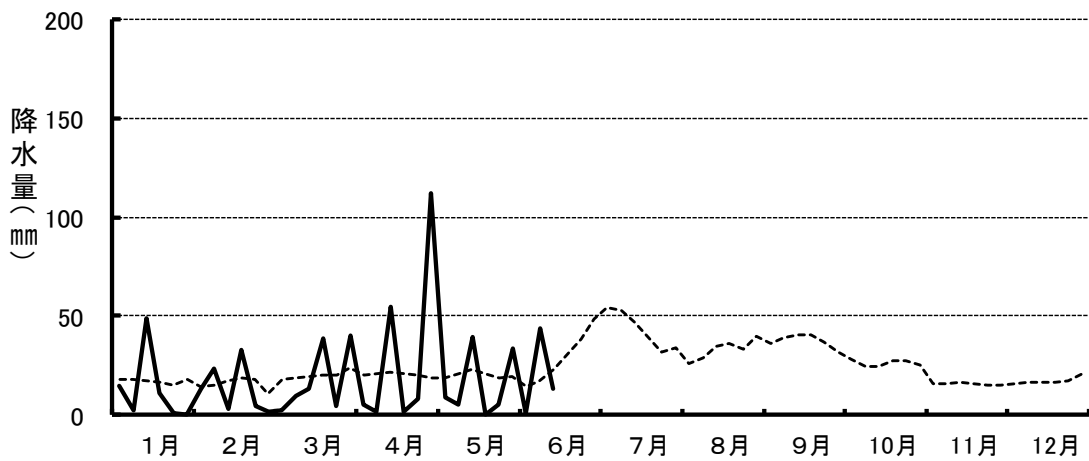


図2 本年度の半旬別降水量の推移(高山市)

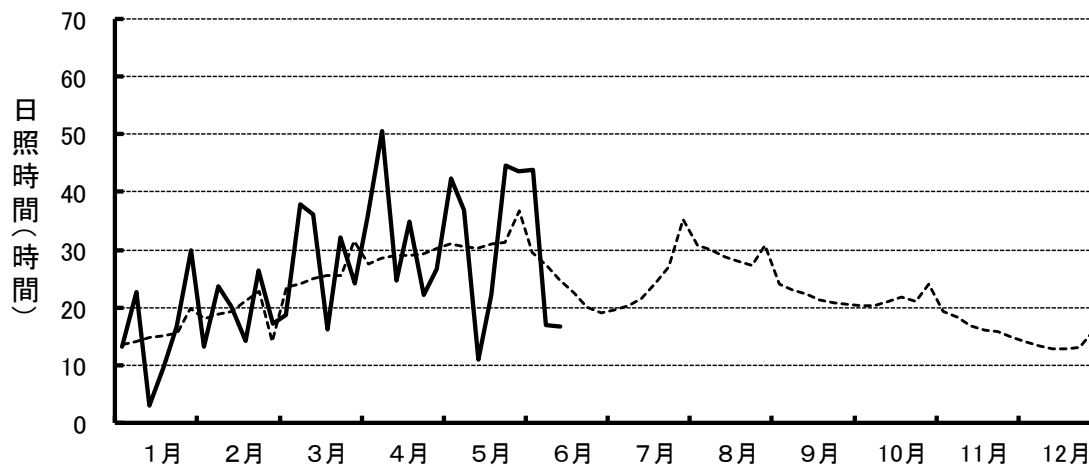


図3 本年度の半旬別日照時間の推移(高山市)